

# ヤリイカの初漁期漁獲量を用いた漁況予測

福島県水産試験場 水産資源部

## 1 部門名

水産業—資源管理—イカ類

## 2 担当者

早乙女忠弘・佐藤美智男

## 3 要旨

底びき網漁業の主要な漁業対象種であるヤリイカは、漁獲量の年変動が大きいと、漁況予測は漁業経営に有益な情報となる。そこで、漁獲統計を整理し、簡便な漁獲量予測手法を検討した。

- (1) 1989～2009年における底びき網属地水揚量を漁期別(9月～翌年6月)に整理した。漁期年別漁獲量は、90～700トンの間で推移した(図1)。月別漁獲量(割合)は年変動が大きく、盛漁期(20%以上の漁獲割合)は概ね12月が中心となったが、2000年代は翌年2月もまとまった漁獲がみられた(図2)。
- (2) 初漁期の9,10月漁獲量と、漁期全体漁獲量を比較した結果、2007(平成19)年の特異年として除けば、相関係数  $r=0.89$  ( $p<0.01$ ) であり、回帰式を用いた簡便な漁況予測手法の可能性が考えられた(図3)。得られた回帰式を用いた2010年漁期(H22年9月～翌年6月)の漁獲量は、325トンと試算され、平均値(299トン、89～09年)を上回る漁獲が期待された。
- (3) 今後の課題として、2007年漁期のような特異年は今回の手法では予測できないため、特異年となった要因を明らかにする必要がある。

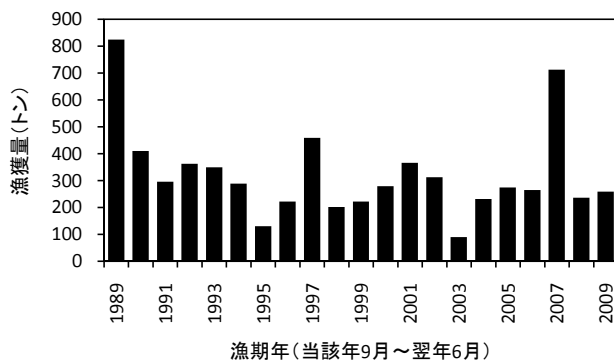


図1 漁期年別漁獲量の推移(福島県属地)

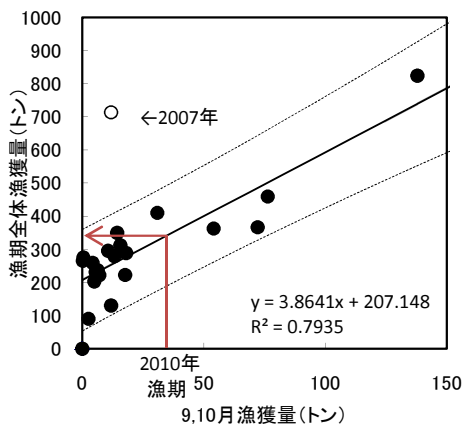


図3 初漁期(9,10月)漁獲量と漁期全体漁獲量の関係

漁期年	当該年9月	10月	11月	12月	翌年1月	2月	3月	4月	5月	6月
1989	4	12	19	27	13	17	7	1	0	0
1990	2	5	18	23	20	19	11	2	1	0
1991	2	2	11	22	12	30	18	3	0	0
1992	6	9	21	35	17	8	4	0	0	0
1993	0	4	21	30	22	12	7	4	0	0
1994	2	4	29	33	16	7	4	2	2	0
1995	4	5	22	39	13	5	9	3	1	0
1996	1	2	15	36	14	17	6	6	1	1
1997	5	12	16	29	16	15	6	1	1	0
1998	0	2	13	35	16	17	11	4	1	1
1999	2	6	25	25	19	13	7	3	1	0
2000	0	5	19	18	11	32	11	3	1	0
2001	2	17	41	20	7	9	2	2	0	0
2002	1	4	18	31	13	20	9	2	0	0
2003	0	3	12	38	17	22	6	2	0	0
2004	0	2	17	37	19	20	3	1	0	0
2005	0	0	3	12	18	25	20	19	3	0
2006	0	0	4	15	14	25	20	16	5	0
2007	1	1	5	11	20	29	22	12	0	0
2008	0	2	11	29	19	21	11	5	1	0
2009	0	2	12	34	21	17	11	3	0	0

図2 各漁期年における月別漁獲量割合(%)

## 4 主な参考文献・資料

- (1) 福島県海面漁獲高統計(1990～2009年版)